

大学院美術研究科グローバルアートプラクティス専攻 講師の公募について

1. 募集人員 東京藝術大学芸術研究院純粋美術表現領域
講師（テニュアトラック教員※、女性◆） 1名
※テニュアトラック教員とは、テニュアトラック制度により雇用する教員をいう。
※テニュアトラック制度とは、任期満了時までにはテニュア審査を行い、可とされた者にテニュアを付与し、不可とされた場合は任期満了をもって雇用関係を終了する制度をいう。
※テニュアとは、任期の更新回数に定めのない身分をいう。
◆「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した公募を実施します。
2. 所属・専門等 大学院美術研究科 グローバルアートプラクティス専攻
※本専攻の詳細については本学HPをご参照ください。
http://www.geidai.ac.jp/department/gs_fine_art/gap
<http://gap.geidai.ac.jp/>
3. 担当授業 大学院において、現代美術の社会実践についてグローバルな文脈で実践的な実技指導および論文指導を行う。
4. 採用予定時期 平成29年10月1日
5. 任期 5年 ※原則として採用後3年目に中間審査、4年目にテニュア審査を行い、合格した場合、テニュアポストで採用します。
6. 給与 東京藝術大学年俸制職員給与規則に基づき支給
7. 応募資格 下記の各項を満たす者
 - (1)現代美術、芸術全般において高い専門性と優れた業績を有し、豊かな知識、教育・研究能力を有する者
 - (2)国際的な芸術活動・教育の展開ができる者
 - (3)大学院修士、博士後期課程学生の教育研究指導にあたる者
 - (4)修士の学位を有する者もしくは同等以上の実績を有する者
 - (5)採用後、通勤可能な範囲（上野校地、取手校地）に居住できること。
 - (6)国籍は問わない。但し上記の教育に支障のない日本語及び英語能力を有すること。
8. 選考方法
 - (1)第一次選考：書類審査 平成29年5月上旬 結果は書面にて通知する。
 - (2)第二次選考：面接審査 平成29年5月22日（月） 詳細は第一次選考合格者に通知する。
（なお、面接に要する旅費等は自己負担とする。）
 - (3)候補者内定：平成29年7月中旬頃
9. 提出書類
 - (1)履歴書（写真貼付。生年月日、連絡がつく電話番号・メールアドレス等を明記のこと）
 - (2)業績リスト（作品の発表、研究の実績を含めた活動歴）
 - (3)作品資料（ポートフォリオ、図録、画集、主要論文等）

(4)応募の趣旨（800字程度、書式自由、ただし日本語に限る。）

- ・いずれもA4判用紙を基本とする。なお、(3)作品資料は返却するので、応募者は必要な額の切手を貼付し、送付先を明記した返信用封筒を同封すること。
(宅配便利用の場合は、送付票「着払い」に記入の上、返信用封筒と共に同封すること。)
- ・提出書類は採用事務にのみ使用し、その他の目的に使用することはありません。

10. 書類提出先

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

東京藝術大学美術学部庶務係 宛

提出書類は「書留」とし、封筒の表面に「GAP専攻教員応募書類在中」と朱書きすること。

11. 書類提出期限

平成29年5月2日(火)17時までに必着(厳守)のこと。書留郵便以外は受理しない。

12. その他

本学ではダイバーシティな大学環境実現のため、女性教員・研究者支援を推進しています。

(東京藝術大学ダイバーシティ推進室HP <http://diversity.geidai.ac.jp/>)

【本件に関する問合せ先】（問合せは、必ず文書によること。）

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部庶務係（担当：本橋）

FAX：03-5685-7765